

Tokyo Contemporary Art Award 2020-2022 受賞記念展 のお知らせ

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団は、「Tokyo Contemporary Art Award 2020-2022 受賞記念展」を開催します。

Tokyo Contemporary Art Awardは、海外での活動に意欲を持つ中堅アーティストを対象として継続的な支援を目的に平成30(2018)年度に創設されました。その第2回の受賞者となった藤井光と山城知佳子による、受賞後2年間の活動の成果となる受賞記念展覧会を東京都現代美術館にて開催します。

また、展覧会開幕に合わせ、各受賞者のモノグラフ（作品集）を発行します。

1 展覧会概要

出展作家：藤井 光、山城 知佳子（Tokyo Contemporary Art Award 2020-2022 受賞者）

会期：令和4（2022）年3月19日（土曜日）～6月19日（日曜日）

会場：東京都現代美術館 企画展示室 3F（東京都江東区三好 4-1-1）

開館時間：10:00～18:00

休館日：月曜日（3月21日は開館）、3月22日

入場料：無料

主催：東京都、

公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーアーツアンドスペース・東京都現代美術館

ウェブサイト：<https://www.tokyocontemporaryartaward.jp/>



■参考画像



藤井 光《厄災の記憶 その表象可能性》2017

写真：椎木静寧



山城 知佳子《チンビン・ウェスタン 家族の表象》2019、シングル・チャンネル・ビデオ&サウンド・インスタレーション
© Chikako Yamashiro, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

※賞の概要及び選考委員、受賞者のプロフィールにつきましては別紙をご覧ください。

※上記掲載の作品は、本展覧会において展示される作品と異なる場合があります。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、変更等が生じる場合があります。

【問い合わせ先】

生活文化局文化振興部文化事業課 電話 03-5320-7703

公益財団法人東京都歴史文化財団東京都現代美術館トーキョーアーツアンドスペース事業課
電話 03-5245-1142

2 モノグラフについて

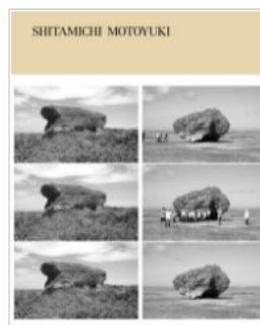
展覧会開幕に合わせ、各受賞者のモノグラフ（作品集）をそれぞれ発行します。モノグラフには、作品画像のほか、作品や制作についての受賞者による文章、専門家による寄稿が掲載されます。

モノグラフの一部をPDFデータとして令和4（2022）年3月下旬頃に上記ウェブサイトにて公開予定です。

（参考）前回（Tokyo Contemporary Art Award 2019-2021）のモノグラフ（上記ウェブサイトに掲載中）



風間サチコ
『Magic Mountain』



下道基行
『SHITAMICHI MOTOYUKI』

【参考】Tokyo Contemporary Art Award について

（1）第1回（Tokyo Contemporary Art Award 2019-2021）受賞者

風間 サチコ（かざま さちこ）

下道 基行（したみち もとゆき）

（2）第2回（Tokyo Contemporary Art Award 2020-2022）受賞者

藤井 光（ふじい ひかる）

山城 知佳子（やましろ ちかこ）

（3）第3回（Tokyo Contemporary Art Award 2021-2023）受賞者

志賀 理江子（しが りえこ）

竹内 公太（たけうち こうた）

令和5年春 受賞記念展開催予定

（4）第4回（Tokyo Contemporary Art Award 2022-2024）受賞者

令和4（2022）年1月 受賞者の発表

令和4（2022）年3月（予定）授賞式

受賞者のプロフィール、受賞理由等の詳細はTokyo Contemporary Art Award ウェブサイトをご覧ください。

本件は、「『未来の東京』戦略」を推進する事業です。

戦略15 文化・エンターテインメント都市戦略「芸術文化の担い手サポートプロジェクト」

Tokyo Contemporary Art Award 2020-2022 概要

【目的】

国内で実績があり、世界に発信すべき中堅アーティストのステップアップを促し、世界で活躍するアーティストの登竜門となるような賞を通じ、東京の文化都市としての魅力を向上させる。

【対象】

海外での活動に意欲があり、概ね10年以上の活動経歴を有する現代美術の分野で活動する中堅アーティスト（ジャンル不問）

【特徴】

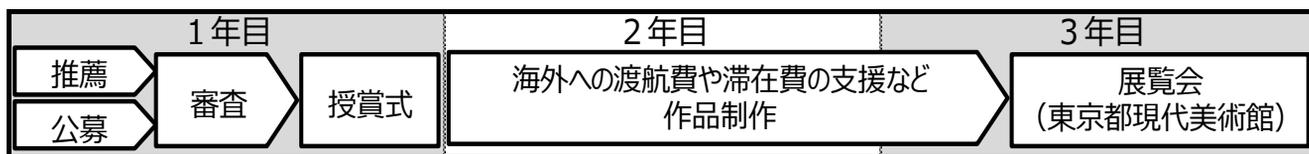
- ・スタジオ訪問や面談により、**作品のみではなく**、制作のプロセスを含めたアーティストの**ポテンシャルを総合的に審査**
- ・受賞から、**東京都現代美術館で展覧会を実施**するまで、2年間*をかけて**継続的に支援**

【支援内容】

受賞者は2組とし、それぞれに以下の支援を行う。

- (1) 賞金300万円
- (2) 海外での活動支援100万円*（旅費、滞在費、調査・制作費等）
- (3) 展覧会実施（東京都現代美術館での展示）
- (4) モノグラフ（作品集）の作成（上記（3）の展示にあわせて制作*）

【賞のスケジュール*】



*上記の支援内容とスケジュールは第3回までのものです。第4回（Tokyo Contemporary Art Award 2022-2024）からは、アーティスト支援の充実のため、内容に変更があります。

Tokyo Contemporary Art Award 2020-2022 選考委員

(順不同/敬称略)

神谷 幸江	ジャパン・ソサエティー、ニューヨーク ギャラリー・ディレクター
住友 文彦	アーツ前橋 館長/東京藝術大学大学院准教授
ドリユン・チョン	M+ 副館長/チーフ・キュレーター
マリア・リンド	キュレーター、ライター、エデュケーター
キャロル・インハルター	北京中間美術館 ディレクター
近藤 由紀	トーキョーアーツアンドスペース プログラムディレクター (公益財団法人東京都歴史文化財団東京都現代美術館トーキョーアーツアンドスペース事業課長)

※肩書きは、2019年選考会当時のものです。

Tokyo Contemporary Art Award 2020-2022
【受賞者のプロフィール等】

藤井 光 (ふじい ひかる)

1976年東京都生まれ。東京都を拠点に活動。

紛争や事故などの厄災に起因する、あるいはそれにより顕在化した社会構造の不条理を主題に映像インスタレーションを制作する。藤井が設定した、史実にもとづいた出来事の再演や実際的な議論の場をとおして、その主題が我々の日常に潜む諸問題と地続きであることを示す。



《解剖学教室》2020

山城 知佳子 (やましろ ちかこ)

1976年沖縄県生まれ。

出身地の沖縄を舞台に映像や写真を制作。地理的要因により独自の歴史や文化を持つ沖縄の、戦争の継承や戦後の政治的構造について、時には自身も被写体となり、肉体や声など、身体を通じて問題提起する。また、物語性を取り入れることで新たな視座で沖縄を捉え、壮大さと普遍性を獲得している。



《肉屋の女》2012 年版、3チャンネル・ビデオ・インスタレーション
© Chikako Yamashiro, Courtesy of Yumiko Chiba Associates